

指定管理施設（ かさはら福祉センター ）事業評価表

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			平成28年度 評価	平成28年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
福祉高齢者、障がい者等の福 祉相談及び健康相談に関すること	1	生活・健康相談の実施	回数	実施日	ねらい	-	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・福祉センターへの来所や電話により相談、または、地域住民来館者等より情報を受け、担当職員への引き継ぎ及び関係機関(民生児童委員等)への問い合わせ、相談を行った。 ・原則的には、問題を解決できる場ではなく、いかに的確な相談先を紹介できるかが必要であるが、高齢者は話を聞いてもらえることに満足している。
		笠原地域包括支援センター職員による相談	-	随時	高齢者世帯等からの健康相談、福祉相談に乗り、必要な時は職員が自宅へ訪問を行う。		-	-	
		笠原地域包括支援センター看護師による健康相談	12	月1回	健康管理		12	188	
		小計	12	-	-	-	12	188	
		計	12	-	-	10	12	188	-
高齢者の教養講座等の実施に関すること	1	高齢者等の生活、健康に関する講座の実施	回数	実施日	ねらい	-	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・より多くの方に参加していただけるように内容等を検討し、募集した。 ・笠原地域福祉協議会、笠原地域包括支援センターと共催により事業実施。一般来館利用者等に、窓口で参加等の働きかけを行う。 ・講習内容は、参加者に口頭で聞き取りを行うことでニーズの把握に努めた。地域高齢者のニーズに沿ったものや新しい内容のものを実施したことにより、多くの参加が得られた。 ・次年度には、アンケート調査等を実施し、更なる充実を図りたい。
		健康づくり「貯筋体操」	12	月1回	・高齢者の健康づくり ・高齢者のための福祉サービスについて ・高齢者の日常生活での介護予防策		12	229	
		健康づくり「バランスボールを使った体操」	30	年3講座(1講座:10回)			30	982	
		健康づくり「リンパ・ドレナージュ」	24	月2回			25	282	
		健康づくり「3B体操」	24	月2回			23	293	
		健康づくりフォークダンス教室	21	概ね月2回	21		300		
		教養知識折り紙教室	12	月1回	12		126		
		教養知識パッチワーク教室	24	月2回	24		180		
		教養知識絵手紙教室	12	月1回	12		114		
		介護予防家族介護教室	2	年2回	2		72		
		介護予防認知症サポーター養成講座	1	年1回	1		21		
		介護予防認知症予防講座	3	年3回	3		68		
		介護予防介護予防教室	4	年4回	4		76		

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			平成28年度 評価	平成28年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価	
（高齢者の教養講座等の実施に関すること（続き））	1	小計	169	—	—	—	169	2,743	・名古屋徳洲会病院の医師等による各種講座の開催。 ・月ごとにテーマを決め それに則した講師を病院より派遣（病院の地域公開医療講座と共催）。	
		医療講座	回数	実施日	ねらい	—	実施回数（回）	参加延べ人数（人）		
		公開医療講座	12	月1回	医師、薬剤師より、生活習慣病等の予防法を学		12	302		
		小計	12	—	—	—	12	302	・多治見市シルバー人材センターの協力を得て、就業説明会を実施。 ・運転技術講習会を実施、送迎車両の運転方法等を講習。	
		就労関係講座	回数	実施日	ねらい	—	実施回数（回）	参加延べ人数（人）		
		就業説明会	10	概ね月1回	高齢が就労できる場所等の紹介や、就労内容の紹介等。		10	60		
		送迎・配達運転業務講習会	3	年1回（3日間）			3	15		
		小計	10	—	—	—	13	75		-
		計	191	—	—	10	194	3,120		
地域の福祉に増進するための講座	1		回数	実施日	ねらい	-	実施回数（回）	参加延べ人数（人）	・地域福祉協議会、笠原地域包括支援センターが主催する講座を協力して実施。一般来館利用者等に、窓口で参加の働きかけを行う。	
		生きがい健康塾	11	概ね月1回	身近な地域を散策等を行い、閉じこもり予防		11	261		
		教養知識 ガーデニング講座	4	年4回（四半期ごと）			4	110	・集いの場の提供により、高齢者の閉じこもり予防策として実施。地域内講師により季節感あふれる講座を開催。	
		小計	11	—	—	—	15	371		-
		計	21	—	—	10	15	371		
支援センター、地域福祉協議会、周辺福祉施設等との連携、協力に関すること	1		回数	実施日	ねらい	-	実施回数（回）	参加延べ人数（人）	・地域福祉協議会が主催する「かさはら福祉まつり」に参加し、地域住民へ福祉センターのPR及び各種団体との連携強化を図る。	
		「かさはら福祉まつり」参加	1	年1回	校区内福祉団体との協力と福祉センターPR		1	35		
		笠原児童館との交流	1	年1回	高齢者と児童の交流ふれあい		1	35	・児童館ドレミクラブの児童と福祉センター利用者との交流により、子どもの活力が高齢者に伝わるよう実施。	
		小計	2	—	—	—	2	70		-
		計	2	—	—	14	2	70		

項目	区分	具体的内容	目標・ねらい			平成28年度 評価	平成28年度の実施状況		取組み、成果、利用者の満足度・評価、課題分析、自己評価
に福祉関係団体との連携、支援	1		回数	実施日	ねらい	-	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・作業室を利用希望者に開放し、印刷製本作業や打ち合わせ等に提供。また、印刷機の使用 方法の説明及び消耗品の補充、機械の点検を行う。 ・イベント事業に伴うポスターの掲示。 ・民生児童委員協議会、多悠連笠原校区連合会に出席し、情報交換等を積極的に行う。地域との信頼関係を築く場となっている。
		各種福祉団体の活動支援のため、作業室を利用してもらい、資料作成等を支援する。	-	随時	各種団体の活動を支援し、連携の強化を図る		-	-	
		多治見市悠光クラブ連合会との連携	-	年2回	情報交換、協力、支援		2	75	
		民生児童委員協議会との連携	-	月1回			11	210	
		小計	0	-	-		-	13	
		計	0	-	-	14	13	285	-
ボランティアの養成に	1		回数	実施日	ねらい	-	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・共有スペースに活動紹介、イベントの案内のためのチラシの設置スペースを開設し、各団体の広報活動に利用してもらう。また、期限の切れたチラシ等の撤去、廃棄を行う。 ・事業実施に伴う参加の呼びかけ。
		福祉センター正面玄関に掲示板を設置し、各種講座、ボランティア団体の活動を紹介。	-	随時	掲示希望団体から提出されたものを掲示し、ボランティアの活動を知ってもらう機会を提供		-	-	
		小計	0	-	-		-	-	
		計	0	-	-	12	-	-	-
福祉その他高齢者及び障がい者の	1		回数	実施日	ねらい	-	実施回数 (回)	参加延べ人数 (人)	・コグニサイズ 利用者の要望に応え、常設のコグニサイズレーンを設置。手と足を同時に動かすことで脳と体のバランスを保てるように行う。国立長寿医療研究センターの講師を招き講習会を開催。 ・浴場は、休館日を除く月曜日から金曜日までを一般開放している。その他の施設については、休館日を除き毎日利用出来るように施設を開放し利用促進に努めている。 ・高齢者が気軽に利用できるように開放し、集いの場となりうるようにした。特に1月からは、平日に将棋の利用者が増加している。
		コグニサイズ	1	年1回	転倒予防等軽運動の実施		1	78	
		浴場、ヘルストロン、健康器具、囲碁、将棋、ビリヤード、カラオケ等の施設の開放及び管理を実施する。	-	開館日	個人でも気軽に安心して利用できるよう仲間作りの場の提供。				
		小計	1	-	-		-	1	
		計	1	-	-	13	1	78	-

(留意事項) ※「区分欄」は、指定管理者の協定書・仕様書で定められた事業は「1」、協定書等がない自主事業は「2」を記入。

「年度評価欄」は、次の内容で記入。

・仕様書以上：15～12点、仕様書に忠実：11～9点、仕様書の一部不実施（軽微）：8～7点、仕様書の一部不実施（中程度）：6～3点、それ以下：2～0点